

TCM Journal

vol.49 **特別号** 次の100年に向けて

次の100年に向けて

p2 理事長×渡辺裕教授対談

p4 野島稔学長と語る
MLAの魅力

p6 TCM師弟対談

2キャンパスで活気あふれるTCMへ

p8 キャンパス紹介

p10 各方面からのメッセージ

p11 竣工式

p12 創立111周年事業プロジェクト

p13 大学院に新コース誕生



TCMは創立111周年記念事業の一環として、今春、中目黒・代官山エリアに新キャンパスを開校しました。本学では次の100年に向けて、音楽文化の新たな地平を切り拓くべく、ビジョンを策定し、教育改革を進めていきます。

音楽文化の幅広い研究と数々の業績で知られ、今年から本学教授に就任した渡辺裕氏が、音楽大学のあるべき姿やこれからの音楽教育について、鈴木勝利理事長と対談しました。また、音楽界で活躍する卒業生や在校生と、彼らを指導する教授陣が登場し、在学中の思い出や現在の心境などについても、師弟で語り合いました。

次の100年に向けて

教授 渡辺 裕

2019年4月より、本学音楽学部「音楽教育専攻^{※1}」、大学院音楽研究科修士課程「音楽教育専攻^{※2}」博士後期課程の教授に就任。
東京大学美学藝術学専攻卒業、同博士課程単位取得退学。元東京大学教授。
※1、※2は2020年度より専攻名を変更します。(P15)

理事長 鈴木 勝利

東京音楽大学ビジョン

—— 音楽文化の新たな地平を拓く ——

- 1 全学を挙げた先進的な活動により、音楽文化の新たな地平を拓きます。
- 2 変化し続ける社会を見据えて、音楽で感動を与え、音楽で明日をつくる人材を育成します。
- 3 音楽文化の多角的な研究を展開し、広く成果を発信します。
- 4 双方向の国際交流を活発化し、多文化が共存するキャンパスを目指します。
- 5 鋭意音楽活動を展開し、地域社会の活性化、文化力の向上に積極的に貢献します。
- 6 クリエイティブ・キャンパスを創出・運営し、構成員が自ら成長し続ける大学を実現します。

2019年1月11日策定(全文はホームページに掲載)

30年前に作曲「映画・放送音楽コース」を設立 多方面で優秀な人材を輩出

鈴木 渡辺先生には今年度から教壇に立っていただきますが、東京音楽大学にどんなイメージをおもちですか？

渡辺 まず頭に浮かぶのは、映画や放送関連のコースがあることです。クラシックだけでなく、そういう分野にも早くから力を入れてきたのだな、という印象です。

鈴木 作曲のなかに「映画・放送音楽コース」を立ち上げたのは30年前です。世界中の音大がクラシック至

しました。これは当時としては画期的なこと、このコースから、今を代表するテレビや映画、CM界のリーダーを多数輩出しています。

渡辺 先進的な取り組みです。私も最初はクラシックの作品研究をしていたのですが、クラシックだけを特別視する価値観に疑問をもち、音楽自体よりも制度的なものや西洋文化との関わりを研究してきました。そうしていくうちに、「音と音楽は切り離せない」と感じて、いろんな音の文化、たとえば音楽喫茶や駅の発車音など、研究対象が徐々に広がっていったんです。

鈴木 先生の言われる「音楽も音のひとつ」という考え方は非常に重要です。先生には、そうした音楽文化の広がり、ぜひ本学にもち込んでいただきたいと思います。

演奏家以外にも多様な進路に対応できる体制を強化

鈴木 本学は音楽大学ですが、3割以上の学生が卒業後の進路として教員や一般企業を目指します。途中で進路変更をしてもいいように、サポート体制を整えています。

渡辺 最初から分野を限定せずに、社会との関わりや多様性のなかで力を発揮できるような能力を伸ばしていきたいですね。

鈴木 本学では、次の100年に向けて新しいビジョンを掲げました。2年前には音楽と英語による教養を総



上主義に陥り、実技を教える専門学校のようになっていくなか、ほかの分野でも時代を先取りするような人材の育成が必要だと感じ、映画やドラマ、CMなどの音楽界で活躍する作曲家を育成するコースを開設

合的に学べる「ミュージック・リベラルアーツ専攻」を開設、今年には「吹奏楽アカデミー専攻」を開設します。さらに、音楽とIT技術を融合した教育も準備中です。

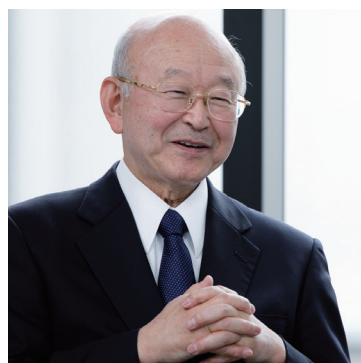
渡辺 街にあふれる音と生活との関わりや影響などについて、さまざまな専門家が共同研究を行えるような場があるといいですね。

鈴木 音楽研究も充実させる方針です。先生には、分野を超えた多角的な研究の中核として、知的な面で学生を指導してくださることを期待しています。

渡辺 この新キャンパスはおしゃれな代官山と、クリエイティブでありながら庶民的な中目黒という異なる街並みのなかにあり、学生に大変いい影響を与えそうですね。

鈴木 はい、そこにIT技術を活用した科目を組み込み、総合大学と比べても遜色のない教育を整え、学生が卒業後の進路を自由に選べる体制を整えていきます。

渡辺 ここから「音と音楽の総合大学」を目指したいですね。





学長
野島 稔 教授

岡田 M L Aでは2年目以降に英語で教養科目の授業を受けるため、向上に役立ちます。

岡田 M L Aの学生は、専門も英語レベルもさまざま、実にいろいろな個性の学生がいますよね？

宮下 確かにいろんな学生がいますが、各々のレベルに応じて取り組めるので、みんなそれぞれ充実した日々を送っていると思います。1学年20人足らずと人数が少なく、仲間意識が強いので、わからないところはわ



ミュージック・リベラルアーツ専攻
アカデミック・アドバイザー
岡田 敦子 教授

「MLAのようにさまざまな 価値観の人たちが刺激し合うと、 人間の幅も広がります」(野島学長)



ミュージック・リベラルアーツ専攻 1年
宮下 まゆきさん

浜松学芸高等学校卒業。6歳でピアノをはじめ、11歳の時に渡米。数々の国際的なピアノコンクールに入賞し、帰国後、東京音楽大学、MLA専攻に入学。2018年、第17回東京音楽大学コンクールで第1位を受賞。

ので、MLAの英語の授業はとても有意義です。

岡田 最近の研究で、音楽と言語を司る脳の部分が近いという話を聞きました。音楽と言語の両方を学ぶことで、相乗的な効果が期待できるかもしれません。

お互い助け合いながらも 刺激し合える関係が魅力

岡田 M L Aでは2年目以降に英語で教養科目の授業を受けるため、

1年生の間に英語の基礎を徹底的に勉強します。早稲田や上智など他大学のメソッドを取り入れたり、英語を母語とする講師を招いたりしていますが、実際に入学してみてもどうでしたか？

宮下 とても充実しています。たとえば、英語でプレゼンテーションをする授業は一から自分で組み立てていくので、すごく力がつきます。ネイティブの先生1人に生徒4人で学ぶチュートリアル・イングリッシュも、知らない表現をグループ会話で実際に使ってみることができて、表現力の向上に役立ちます。

岡田 M L Aの学生は、専門も英語レベルもさまざま、実にいろいろな個性の学生がいますよね？

宮下 確かにいろんな学生がいますが、各々のレベルに応じて取り組めるので、みんなそれぞれ充実した日々を送っていると思います。1学年20人足らずと人数が少なく、仲間意識が強いので、わからないところはわ

実技と勉強の両立によって かえって効率よく練習できる

岡田 宮下さんはミュージック・リベラルアーツ(M L A)専攻の1年生で、昨年の東京音楽大学コンクールピアノ部門で1位を受賞しました。野島学長とお会いするのは秋の授賞式以来かしら？

宮下 はい、賞状を手渡していただいたのですが、こうして面と向かってお話しするのははじめてです。

学長×指導教員×学生

ミュージック・リベラルアーツ の魅力

ミュージック・リベラルアーツ専攻は、TCM気鋭の専攻です。
英語、教養を学ぶことをとおして、音楽のみならず人間的な成長も見込めます。
その魅力をうかがいました。

野島 私はあなたの演奏を聴いて、バランスがよく、力みがなくて自然な感じで弾いているのがとてもいいなあ、と思いましたよ。

宮下 ありがとうございます。

岡田 実技は私と石井克典先生で受けもっているのですが、入試の時に比べて随分ピアノが鳴るようになり、音に主張が出てきたと思います。入学してからどんどん伸びている印象ですね。

宮下 それは実技のレッスンでの確かな指導を受け、これでいいんだという確信と自信をもって弾けるようになったからだと思います。

岡田 M L Aだと英語の課題が多くて、実技との両立は大変ではないですか？

宮下 いいえ、時間が限られている分、かえって集中できていいと思っています。切り替えがうまくなり、逆に効率がよくなりました。

MLAなら日本にいながら 英語の表現力も身につく

野島 宮下さんはどうして東京音大に来ようと思いましたが？

宮下 M L Aがあったからです。もともとアメリカの大学に行こうと思っていたのですが、高校3年生の時、ピアノの先生から「こういう専攻があるよ」と教えてもらい、調べるうちに自分に合っているのではないかと思い、目指しました。

岡田 どのあたりが一番合っている

と思いますか？

宮下 それはもちろん、英語を学びながら実技も充実しているところですね。どちらも私にとっては重要なので。

野島 ピアノはいつ頃習いはじめましたか？

宮下 6歳の時に浜松の音楽教室で習いはじめ、アメリカではテネシー大学のドクターにずっと教わっていました。数千人の観客の前で演奏したり、オーケストラとのコンチェルトやソロリサイタルをさせていただいたり、日本ではできない経験をたくさんしました。

岡田 アメリカの大学に興味があったのですかね？

宮下 はい。国際的でありたかったし、英語も忘れないでいたいと思いました。アメリカでは、ラジオのインタビュアー、コンサートでのトークなどを経験し、語学力の大切さを実感していたので、日本の音大という選択肢はありませんでした。でもMLAのことを知って、海外に行かなくてもやりたいことを実現できそうと思いました。

野島 私も昔、ロシアに留学した当初は英語もロシア語も話せず、外国語でコミュニケーションをとる難しさを肌で感じました。これからの時代、世界で活躍するには英語でのコミュニケーションが不可欠だと思います。

宮下 私は日常会話には困りませんが、より専門的なことや細かいニュアンスを伝えるのはまだまだな

かる人に聞いたりして、お互いに助け合っています。本当に仲がよくて、「みんなと一緒にがんばっていい」という意識が強いのです。まじめな人が多いし、それぞれ強みをもっているのので、一緒にいると刺激になります。

野島 それもMLAの狙いのひとつです。音大は実技レベルや目標の同じ人たちが集まりがちですが、さまざまなレベル、価値観の学生が集まって刺激し合うと、世界の広さが見えてきて、人間の幅も広がります。

宮下 外国人の先生が「日本人はなんでもジャンケンで決めたがる。それは、自分で責任をとりたくないから」と指摘されたのは興味深かったです。文化や気質の違いをあらためて知ること、自分の価値観も広げられる気がします。

岡田 これからMLAを目指す人たちにアドヴァイスはありますか？

宮下 英語と実技のバランスをとるのが最初は難しいかもしれませんが、工夫してがんばれば大丈夫だと思います。

岡田 M L Aにはいろんな学生が集まってもらいたいので、英語も実技も入試レベルに幅をもたせています。留学生も受け入れ、日本語を勉強中という学生もいます。学生たちを見ていると、英語や教養の授業はみんなで助け合い、実技はそれぞれががんばっているという感じがします。

野島 ところで、宮下さんにとって将来の夢はなんですか？

宮下 世界中の人たちが笑顔で仲良くなるように。そのために音楽をとおして貢献できる人材になりたいと思っています。奏者と聴衆がお互いに高め合える環境が理想的ですね。

野島 そうですね。英語も音楽も関わる時間が長いほど上達し、そこから広がりが豊かになります。楽器と自分との対話をおとて、正解を追い求めることを習慣づけてほしいと思います。

TCM共演対談

東京音楽大学創立111周年
名川・岡村法律事務所創立101周年
記念特別演奏会で共演

2018年度卒業生

吉永 優香さん

千葉県立東葛飾高等学校卒業。2017年、第34回日本管打楽器コンクールパーカッション部門で第1位。2019年3月に本学を卒業し、大学院科目等履修生としてレッスンを継続。111周年記念シンフォニーオーケストラ定期演奏会に出演。



第一線で活躍する先生や先輩と
共演できる貴重なチャンスも



打楽器

久保 昌一 兼任教授

久保 111周年記念演奏会での演奏はどうでしたか？
吉永 プロとして活躍している先生方の音を間近で聴きながら、学生である自分がその隣で共演できることが夢みたいでした。うれしく感じるとともに、将来の目標をあらためて確認できました。
久保 僕も大学2年生の時、読売日本交響楽団のエキストラに呼んでもらい、菅原淳先生の演奏のすごさを実感し、がんばって立派な音楽家になろうと決意したんです。
吉永 努力を続ければさまざまな可能性が広がるし、それをサポートしてもらえるのは大きいですね。また、校内でのコンクールがあれば、国内外のコンクールに出場するための支援もしてもらえるなど、いろいろな機会に恵まれていると感じます。
久保 僕たちが学生だった頃よりも、今は学生全体のレベルが上がっていますね。音楽業界を担う数多くのすばらしい卒業生を輩出していることも、皆さんの励みになっているかと思います。
吉永 個人練習室も充実していますが、予約なしでみんなと一緒に練習できる大きな部屋があるのもよかったです。そこではほかの人の練習を聴いたり、先輩がアドヴァイスをくれたりして刺激になりました。
久保 新キャンパスには新しい打楽

学生のうちから現場を知り
将来の目標を明確にできる



器の練習室が複数でき、これまでより遅い時間まで練習できるようになります。NHKホールへも近いですから、ぜひN響の演奏も聴きに來てほしいですね。
吉永 将来は私もオーケストラに入って、周りから信頼してもらえるような演奏をしたいです。また、自分が先生方の演奏を聴いて心打たれたように、聴いてくれるお客様に音楽の魅力を伝えたいです。
久保 皆さんには人生が変わるような感動を味わい、それを原動力にしてほしい。TCMはそんな体験ができる場所だと思います。
吉永 大学での4年間は大変なこともありましたが、自分なりに成長できたと思います。この大学を選んだ本当によかったです。
久保 これからも初心を忘れずにがんばってください。

TCM師弟対談

2007年度卒業生

川瀬 賢太郎さん

八王子高等学校卒業。広上淳一、チョン・ミョンフンら各氏に師事。2006年、第14回東京国際音楽コンクール<指揮>において1位なしの2位(最高位)に入賞。2016年第26回出光音楽賞受賞。平成30年度(第73回)文化庁芸術祭賞音楽部門新人賞受賞。

指揮

広上 淳一 教授

「習うのではなく、
自分で考え、発見していくこと」



自分で考えることを
学んだ音大時代

川瀬 先生との出会いは入試の実技試験の時で、第一印象は「怖そう」でした。今では師匠は自分の「ものさし」と思っています。
広上 僕らの時代と比べて今の学生たちは過保護というくらいに恵まれています。自分の頭で考えるということが一番大事なことです。

川瀬 1年生の時は卒業した先輩たちのレッスンを見学させてもらい、2年生から直接先生から教えてもらいました。一番の思い出は2年生の頭に汗だくになって指揮棒を振った4年間でした。

広上 「自分で考えてきたな」と目つきですぐにわかりました。指揮者は習うのではなく、自分で発見していくしかないんです。
川瀬 先生に何気なく言われた言葉がいまだに物事を判断する「ものさし」になっていて、今でも迷った時はヒントをいただいています。相手を尊重することなど、シンプルなことですが、音楽だけやれば良いということでは決まっていなくて気づかされた4年間でした。

たら、突然「君は何になりたいの?」と聞かれたことです。そこから僕の苦悶の日々が始まりました。
広上 「ヒントを与えればなんとかなるんじゃないか」と思ったんですけど、自分で考えない人はつぶれます。表面的なことではなく、自分という人間をとことん見つめ直すことで物事の本質を捉えていってほしい。
川瀬 先生は「ダメ」とか「いい」とかは指摘されても、具体的に「どうすればよくなる」とはおっしゃらないんです。「自分で考えろ」と。しかし、自分なりに考えてもなかなか思いつきません。転機が訪れたのは4年生の春休み。自分をとことん見つめ直してみようと、何が欠点で何が強みか、自問自答を繰り返しました。その結果、休み明けにハイドンの曲を振ったら、先生から「変わったな」と言われ、東京国際音楽コンクールへの参加を勧められました。それで一気にエネルギーが湧き、デビューに結びついたんです。





2つのキャンパスでさらに 活気あふれるTCMへ

音楽を学ぶ上で大切なインスピレーションを与えてくれるキャンパス環境。
池袋と中目黒・代官山という異なる表情をもつ2つのキャン

パスで、豊かな感性を磨き、学びの幅を広げませんか。

中目黒・代官山 キャンパス

最新鋭の設備とこだわりのデザインで 創作意欲を刺激

都内有数の活力に満ちた中目黒と代官山を結ぶ地に立つ新キャンパス。最新の音響設備を備えたホールや録音スタジオをはじめ、創作意欲を刺激するデザインを随所に施したキャンパスで豊かな感性を磨きます。



TCMホール

01 アンサンブル室

アンサンブル室は外の緑を感じられる明るく落ち着いたレッスン室

02 レッスン室

レッスン室、教室ともに最適な音響を実現するために壁や天井の形、素材を厳選し、オリジナルの吸音パネルのデザインとしている



01

録音・録画
スタジオに期待
クラリネット 四戸世紀教授
すく広いスペースのスタジオなので、木管五重奏や八重奏などアンサンブルも録音できそうですね。しっかり録音して聴くことでバランスがわかるようになるので勉強材料にしてほしい。またオーディション用のDVDも作れるのでぜひ活用してほしいです。

ピアノ 石井克典教授

全専攻の学生が利用できる設備で、録音録画技術を得る講座の計画も進行中と聞いています。広さがあるので合奏でも、また一つ一つの部屋に分かれて個別の収録もできます。クラシック、ジャズ、ポップス……工夫次第でいろいろなことができるスタジオだと思えます。学生たちがどのように活用していくのか楽しみです。



TCMスタジオ

最先端の音響設備を備えたスタジオ。ここで学生が収録した音源や作品は、配信やアーカイブによって随時、閲覧可能に。

注目はTCMホールと 最新鋭のスタジオ

レッスン室、練習室、特大教室、自習室、楽屋、そして学生カフェ。新キャンパスには心置きなく音楽に没頭できる施設が数多く作られています。なかでも注目すべきは422人を収容できるTCMホールと、最新鋭の音響設備を備えたTCMスタジオ。

TCMホールは木を基調にしたデザイン。六角形の変形空間ではホール内に音が回遊して満ちてゆく感覚が味わえます。また、外から木漏れ日が差し込むステージ設計によって、森のなかで木々に囲まれているかのような温かい空間になっています。

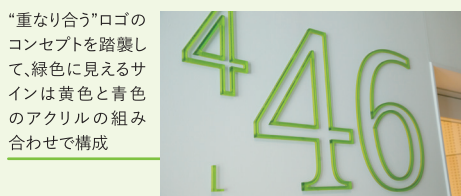
学生自らが発信するスキルを 身につけてほしい

TCMスタジオを監修したのは豊島政実氏。ザ・ビートルズが録音したことでも知られるロンドンのアビー・ロード・スタジオの音響設計を担当した方です。スタジオ内にはコントロールルームを囲むように楽器ごとのブースが配置され、収録した映像や音源はアーカイブや配信によって随時閲覧可能になります。音楽のエキスパートとして録音・録画の技術を学び、学生自らが発信するスキルを身につけていきます。

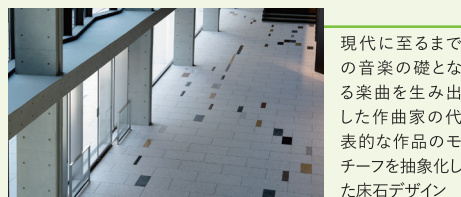


校内の随所に見られる デザインのこだわり

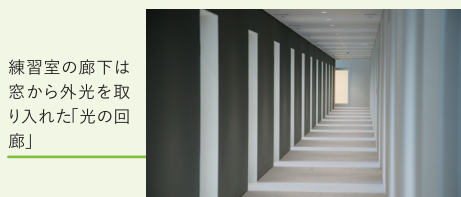
創立111周年を記念して制定された大学の愛称「TCM」Tokyo College Musicが重なり合って融合し共鳴していく様を表現したコーポレートロゴは学生エントランス正面にも掲げられています。その他、教室番号を示すサイン、床石の模様、練習室の廊下、学生エントランスの壁など、キャンパス内のいたるところに学生の創作意欲を刺激するデザインが施されています。



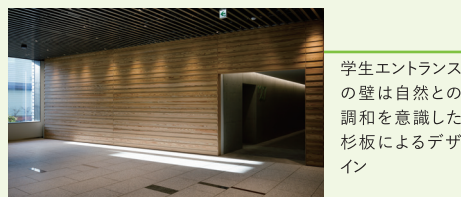
“重なり合う”ロゴのコンセプトを踏襲して、緑色に見えるサインは黄色と青色のアクリルの組み合わせで構成



現代に至るまでの音楽の礎となる楽曲を生み出した作曲家の代表的な作品のモチーフを抽象化した床石デザイン



練習室の廊下は窓から外光を取り入れた「光の回廊」



学生エントランスの壁は自然との調和を意識した杉板によるデザイン

明るく開放的な空間で練習に集中

池袋キャンパスは都心でありながら落ち着いた街並みに立地。明るく開放的な空間のなかで練習に没頭できます。

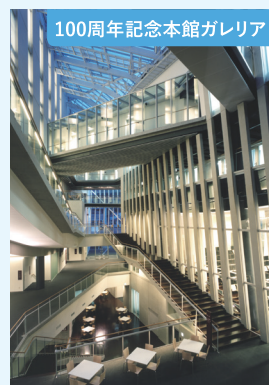


オペラも上演可能な 100周年記念ホール

806席あるシューボックス型の音楽ホールで、舞台のなかまで入り込んだサイドバルコニーや舞台奥の壁にある庇は、客席や舞台上に豊かな反射音を与えます。少人数使用の場合は適度に響きが抑えられ、楽器や演奏者の好みによって響きを調整できるように工夫されています。オペラを上演したり、年間多くの演奏会を開催しています。



100周年記念ホール



100周年記念本館ギャラリー

明るい陽光が降り注ぐ
100周年記念本館のギャラリー
閑静な住宅地に立地しながら音楽に集中できるように、ホールや練習室などを二重遮音構造とし、思いきり音を出しても校舎内外への影響を極小に抑えています。トップライトから自然光が降り注ぐ吹き抜けのギャラリーを中心に、周辺にガラスを効果的に用いた練習室を配置することで、開放的な空間を実現。明るい雰囲気の中で練習に集中できます。

新キャンパスの竣工式レポート



2019年1月29日、雲ひとつない快晴のなか、4月1日に開校する「中目黒・代官山キャンパス」の竣工式が行われました。

地元・上目黒黒川神社斎主による厳かな神事を終えた後、第28回緑の環境プラン大賞を受賞した「みどりの鎌倉街道」の除幕式へ。音楽と緑でもてなしする空間をキャンパス内に創出しています。その後、オーケストラ広場で、地域と学生が交流する憩いの場「音楽の森」植樹の除幕式が行われました。続く祝賀会では、青木英二目黒区長をはじめとした来賓の方々より、新キャンパスに期待するメッセージをいただき、鈴木理事長、野島学長が抱負と挨拶を述べました。

「新しい街づくりのためにさまざまな方からご指導をいただきながら実現した新キャンパスで、学生ファーストの教育をしていきたい。地域社会の活性化に資するため、音楽文化の拠点として貢献していきたい」（鈴木理事長）

新たな音楽文化を創造する拠点に

新キャンパス開校に向けて、地域からのメッセージ

芸術性・創造性を育む新キャンパスに期待のメッセージをいただきました。

東京音楽大学の皆さま、ようこそ代官山へ！

駐日デンマーク王国特命全権大使
フレディ・スヴェイネ



東京音楽大学は、100年以上の歴史をもち、日本で屈指の音楽家を輩出し、西洋のクラシック音楽やリベラル・アートについての知識を日本に広めてきました。文化的発展を育成することは教育機関にとってもっとも重要な責任のひとつです。デンマークもクラシック音楽に誇り高い伝統をもっているため、大使館としての責務は皆さまのものと非常によく関係していると思います。東京音楽大学がその伝統を守り、クラシック音楽とリベラル・アートのもつ素晴らしい歴史と価値を日本の若者に伝えていただけたら幸いです。

150年以上にわたり、デンマークと日本は知識と文化を交流し、お互いに利益をもたらしました。日本とデンマークとの異文化交流をさらに深め、将来の芸術家への道を切り拓き、両国の友好を高めるため、駐日デンマーク王国大使館は東京音楽大学の新しい中目黒・代官山のキャンパス開校に多大なる期待を寄せています。

優れた作曲家たちの母国との出会いの拠点として

駐日ポーランド共和国特命全権大使
ヤツェク・イズィドルチク



東京音楽大学の中目黒・代官山新キャンパス開校を、心よりお慶び申し上げます。私にとって大変うれいのは、貴学新キャンパスが駐日ポーランド共和国大使館と同じ地区に完成したことです。両機関の距離が縮まったことで、文化協力が促進され、それによってシヨパンの国・ポーランドが日本においてより知られるようになることでしょう。さらに、モニューシユコ、カルウオヴィチ、シマノフスキ、グレッツキ、キラル、ペンデレツキなど、シヨパンの楽曲とは異なり、今もその真価の発見が待ち望まれている数多くの優れた作曲家の母国としてのポーランドをもっと身近に知っていただきたいと思っています。ポーランド・日本外交関係樹立100周年というきわめて重要な年に貴学と協力がはじまることで、中目黒・代官山キャンパスがポーランド音楽と折あるごとに出会うことのできる場所となり、それが日本の音楽愛好家と私たちの国のお友だちに、たくさんの忘れがたい印象と感動を運ぶものと、深く信じています。

渋谷界限という「僻地」から新しい発信を

東急文化村 代表取締役社長 中野哲夫



東急文化村は今年で30周年を迎えました。この渋谷という地に根ざす意義が、いよいよ明確になってきました。丸の内・大手町が金融ビジネスの王道、上野が芸術の王道の街という位置づけならば、渋谷は元々江戸の辺縁にあたる、言わば「僻地」。「僻地」だからこそ新しいチャレンジができる、音楽・IT・デザインといった新しい産業が集結するオンリーワンの街といえます。

あらゆる文化・芸術のぶつかり合い、イノベーションが常に行われていて、新しいものが生まれていくこのエリアに、東京音楽大学が進出してきます。鈴木理事長がおっしゃるような「冒険」がここのできるのです。大きなチャンスだと思います。これからの芸術は、生き残るためには大衆性を考えながら変わっていかないとけないと思います。学生の皆さんには、キャンパスを飛び出して、実社会に、この街に混じり合ってほしい。社会には、音楽の世界にはこんなにもたくさんの仕事があるのかということに驚きとともに発見できるはず。失敗を恐れずに、実社会で自分の力を試してください。東急文化村は、皆さんのエネルギーを信じて、渋谷地域の仲間として応援しています。

来賓ご祝辞

目黒区長
青木英二



TCMが
中目黒と目
黒区の大き
な発展につ
ながること
を願っており
ます。

東京都都市整備局長
佐藤伸朗

東京都は、都有地の活用策として、地域ごとにコンセプトを定め、魅力と活力を高める取り組みを行っています。このエリアのコンセプトは「中目黒と代官山を結ぶ美しいまちづくり」。そこで採用されたのが貴校でした。みどりに囲まれ周辺に配慮された外観や広場、敷地内通路などを拝見し、「まちと協奏するみどりの中の音楽大学」が具現化する4月が楽しみです。

公益財団法人都市緑化機構 専務理事
宮下和正

私どもが主催する「緑の環境プラン大賞」は、これまでに180カ所以上の緑の拠点を創出してしています。「おもてなしの庭」部門で受賞された「みどりの鎌倉街道」は地域の歴史性と環境特性に配慮して整備された素晴らしい景観になりました。

東京目黒ロータリークラブ会長
峯崎祐一

新キャンパスの中心に位置する「音楽の森」は当クラブ創立50周年記念事業として植樹させていただきました。今回の植樹を機に貴校との連携が深まり、この森に響くハーモニーが世界の平和と地域社会の発展に資することを切に願っております。

日建設計代表取締役社長
亀井忠夫

設計にあたって、外壁は室内音響性能向上のため、斜めの角度としたり、窓をリズミカルな表現にしました。TCMホールは舞台の背後から木漏れ日が差し込む演出としています。いずれも音楽大学ならではのデザインとなったと思います。

戸田建設代表取締役社長
今井雅則

工事は安全を第一に考え、近隣の皆さまへの配慮を徹底しながら誠心誠意進めました。この新キャンパスが未来に向けた学生の新たな出発点、地域との交流拠点として、末長く愛されることを願っております。

2019年3月 卒業・修了予定者の進路状況 (2019年1月末日現在)

【進路決定先】

(株)三井住友銀行	2名
中央労働金庫	1名
(株)中国銀行	1名
日本生命保険相互会社	1名
第一生命保険(株)	2名
明治安田生命保険相互会社	1名
セゾン自動車火災保険(株)	1名
(株)大和証券ビジネスセンター	1名
国際紙バルブ商事(株)	1名
商船三井フェリー(株)	1名
戸田建設(株)	1名
(株)読売新聞東京本社	1名
(株)電通東日本	1名

(株)BIS	1名
(株)日立ハイテクソリューションズ	1名
富士ゼロックスシステムサービス(株)	1名
パナソニックESネットワークス(株)	1名
第一生命情報システム(株)	1名
東京日産コンピュータシステム(株)	1名
(株)テレコメディア	1名
(株)コロプラ	1名
プラス(株)	1名
日本発条(株)	1名
(株)ユーキャン	1名
(株)ネオキャリア	1名
(株)ジュン アシダ	1名

(株)日音	1名
(株)ブルーノート・ジャパン	1名
キャンシステム(株)	1名
防衛省 陸上自衛隊(音楽隊)	4名
島村楽器(株)	2名
下倉楽器 御茶の水店	1名
音楽教室	
島村楽器(株)	6名
ヤマハ音楽振興会	3名
(株)宮地商会	1名
一音会ミュージックスクール	1名
Luna Piano Music School	1名
その他多数	

教員採用者数 (2018年実績)

東京都	11名
埼玉県	8名
千葉県	6名
他県	6名
合計	31名

TCMの新たなスタートとして2017年に始動した創立111周年事業プロジェクト。次の100年に向けたメッセージシンボルでもあるロゴの制定をはじめ、総合力を発揮した記念演奏会、そして集大成でもある中目黒・代官山キャンパスの開校と、さまざまな行事に取り組んできました。

TCMが誇るプレイヤーで 会場を魅了した記念演奏会

2019年1月、東京オペラシティコンサートホールにて、東京音楽大学創立111周年／名川・岡村法律事務所創立101周年を祝した特別演奏会が行われました。指揮・広上淳一教授、ヴァイオリンリスト・野島稔学長という顔ぶれ。オーケストラは、この記念演奏会のために結成されたTCM創立111周年記念オーケストラによるもので、各楽器の首席を本学を代表する教員が務めました。「東京音楽大学が誇る教授陣と卒業生・学生で作上げた今回のオーケストラ。学生たちにとっては、普段指導してくださっている先生たちがいかに偉大な仕事をしておられるのかを再確認できる機会となったのではないだろうか」と、公演を振り返る広上教授。オーケストラの華やかかつ力強い演奏と、神尾教授の哀愁を帯びた美しい旋律、そして野島学長による美しさを纏う演奏に、約1,600の席を埋め尽くす満場の来客からは鳴りやまない拍手が送られました。

東京音楽大学創立111周年 名川・岡村法律事務所創立101周年記念特別演奏会

2019年1月10日東京オペラシティ コンサートホール



1. 高度な音楽性を表現した野島学長によるモーツァルトピアノ協奏曲27番
2. 煌びやかな響きが会場を包み込む神尾教授のチャイコフスキーヴァイオリン協奏曲
3. TCM創立111周年記念オーケストラ

グラフィックデザイナー 丸山 新さんに聞きました 音大生たちの「創造」力を 喚起する「TCM」のロゴ に隠された意味

東京音楽大学の英文略式表記である「TCM」。コーポレートロゴの三文字は、左側の一部がカットされているように見えます。「切れているのではなく、隠されているのです」。そう語るのには、このロゴをデザインしたグラフィックデザイナー・丸山新さん。確かに隠されているその先に奥行きが見えてきそうな、平面的でありながら、かつ立体的でもある、不思議な感覚にとられます。

TCM

創立100年を超える歴史と伝統をもちながらも、「音楽をとおして世界に開かれた大学に」という先進的な本学のイメージに合うように制作に約一年近く時間をかけ、幾度もの推敲を重ねた結果、「音楽が重なり合い、融合し、共鳴していく様」を表現したこのデザインに行き着きました。音楽芸術のみならず「さまざまな分野との垣根を超えて多様性を許容し」、「現代社会と共存共栄し」、「培われた伝統を忘れることなく、新しい変化を迎え入れ」、「時代とともに進化成長していく」ことを宣誓しながら、音楽をとおして新しい価値を創造し続ける決意が表現されています。

「最先端の新しさは、時代が変われば古くなってしまふ。MOMA（ニューヨーク近代美術館）のような、いつまでも変わらず、新しいもの」を目指したという丸山さん。ロゴの隠された部分は、どこかにつながっているようにも見えます。「音楽大学の学生たちはクリエイターの卵。見えない部分を何かで埋めるには、学生たちの『想像力』ならぬ『創造力』が試されます」。丸山さんは、新キャンパスの教室番号や階段の階数表示などのサインもデザインされました。ロゴ同様に感性を刺激する仕掛けを新キャンパスで直に体感できます。

TOPICS

2020年4月 大学院「音楽文化研究専攻（音楽教育専攻の改称）」に 「多文化音楽研究領域」が誕生



多様な文化的背景により育まれた音楽を探究することができる研究領域の設置は、日本の音楽大学でははじめてのことです。中心になってプロジェクトを進めてきた加藤富美子教授に、その設置の経緯や特色などをうかがいました。

音楽研究のボーダーレス化と ダイバーシティの尊重

2020年4月に、大学院修士課程音楽文化研究専攻に「多文化音楽研究領域」が新たに誕生します。多様な文化を背景として育まれ、継承されてきた世界各地の伝統音楽を教育研究の対象とする多文化音楽研究領域は、どのような経緯で実現に至ったのでしょうか。

近年、あらゆる分野においてボーダーレス化が急速に進み、その一方で、ダイバーシティ（多様性）を尊重する考え方は世界的に定着しています。音楽の教育研究分野においても同様です。多文化音楽研究領域の新設は、本学における音楽文化の教育研究の活性化と向上に大きく貢献するものと確信しています。

多文化音楽研究領域の 教育目標

多文化音楽研究領域で学ぶ学



二胡の指導

生に期待することは、どのようなことでしょうか。現代社会においては、多様な価値を尊重しつつそれを受容し合いながら、新たな価値を創造していくことが重要となっています。多文化音楽研究領域では、音楽を通じ、その多様性を学び、さまざまな価値観や文化的背景について理解を深め、自らも成長し社会に貢献していく人材を輩出していくことを大きな目標としています。

多文化音楽研究領域の特色

新たな発想と教育研究方針をもつ非常にユニークな研究領域のようですが、特色としてはどのようなことが挙げられますか。

世界にはさまざまな文化を背景に、独自の音楽の特色を継承しつつ発達してきた音楽が数多くあります。多文化音楽研究領域では、これらの伝統音楽を理論と実技、実践を通じてそれぞれの音楽文化について深く学

ぶことができます。研究対象となる実技演習は、当面は次のとおりアジアを中心とする音楽を予定しています。

明清楽、北東アジア音楽（アイヌ伝統楽器等）中国音楽（二胡・古筝等）韓国音楽（カヤグム・チャングゴ、キルギス音楽（コムズ、モンゴル音楽（馬頭琴）、インド音楽（タール、タブラ）インドネシア音楽（ジャワガムラン、ジャワ舞踊）邦楽（箏・尺八・三味線・琵琶）

また、本学の付属民族音楽研究所は1975年に設置され、日本における民族音楽研究の草分けとして永年にわたる研究活動の蓄積を背景に、教員研修や社会教育に貢献してきました。多文化音楽研究領域は、この研究所との密接な連携、協力のもとに教育研究を推進していきます。

多文化音楽研究領域には邦楽やアジア音楽に興味関心をもつ欧米からの留学生をはじめ、さまざまな国からの留学生が集う場になることも期待しているとのこと。また、新たに伝統的な音楽や楽器を学ぼうとする社会人学生にも、門戸を開く予定となっています。

呉 信一
櫻井 真子
嶋田 留美
首藤 久美子
申 舜玉
鈴木 雄尋
田所 裕子
津々見由里
ドミトリーフェイギン
仁木 智保子
土方 協子
前田 史也
宮腰 いづみ
森 早苗
森山 あす香
若林 佳水
脇田 理佳
渡邊 和利
■ ご芳志
磯部 英彬
近江 典彦
川原 敦子
野口 芳久

(敬称略)

■掲載を希望されないご寄付者【個人】93名 計 ¥2,991,100

梅原 好枝
河辺 亮子
工藤 達彦
國分 正頼
澤口 遊雲子
柴田 雅子
坂 多賀子
細川 美樹
■ ¥10,000
旭 耕一郎
有馬 礼子
伊賀 あゆみ
石黒 聡
宇野 真希
江間 常夫
岡田 誠
小野 富士
柏原 靖子
鎌倉 芳信
喜久 邦博
菊地 真菜美
北爪 道夫
北中 正和
熊倉 俊明

岡部 正博
海瀬 京子
岸邊 眞知子
崎谷 菜穂子
佐藤 敏明
四戸 世紀
平 郁夫
野本 耕平
平原 憲文
藤村 達雄
松本 健司
水野 信行
南 道子
森田 保江
谷田部敬一
吉本 悟子
米田 栄子
若林 顕
■ ¥20,000
相澤 宏一
與 平作
石井 由起子
石川 昌子
今泉 晶子

渡辺 国彦
■ ¥50,000
石井 千穂
伊藤 節子
海野 義男
川上 裕美子
菅野 宏昭
木部 敏司
工藤 豊太
汐澤 安彦
菅原 淳
谷池 重紬子
永井 義美
中村 静香
船戸 輝久
三石 精一
山辺 絵理
■ ¥30,000
赤木 由美子
浅野 みち子
アランクレギン
在間 聡子
猪口 正幸
今井 伸昭

菊地 麗子
木田 潤子
倉沢 仁子
栗林 義信
腰塚 賢二
小林 出
坂崎 則子
篠崎 史子
鈴木 信五
鷲見 加寿子
関根 有子
曾根 正弘
武田 真理
田代 俊文
店村 眞積
土屋 雄
東條 誠
豊永 聡美
播本 枝木子
藤田 崇文
星 洋二
水谷 真理子
水野 貴子
村中 洋子

創立111周年記念募金

「TCM 創立111周年記念募金」に、多くの皆さまから寄付をいただいております。誠にありがたく、心より御礼申し上げます。

株式会社昭和イーティング	¥100,000
株式会社ミキサーズ ラボ	¥100,000
セイノースーパーエクスプレス株式会社	¥100,000
日本サイン株式会社	¥100,000
株式会社サンワールド東東京	¥10,000

【団体】

東京目黒ロータリークラブ	¥5,500,000
医療法人社団康彩会 理事長 横井 匡彦	¥100,000
東京音楽大学校友会 新潟県支部 会員一同	¥100,000
東京音楽大学校友会 福岡県支部 会員一同	¥100,000
東京音楽大学校友会 宮崎県支部 会員一同	¥100,000
東洋音楽学校・短期大学 同窓会	¥100,000

矢嶋 恵
安田 富佐子
山内 静
山田 泰江
山田 靖子
横田 康子
林 莉
和田 あき子
渡辺 等
渡部 和美
■ ¥7,000
坂西 裕子
■ ご芳志
磐井 志江
河内山美季
熊川 尚裕
小林 誠一郎
小牧 明
塗師 隆治
細川 直美

【大学役員】

■ ¥1,000,000
鈴木 勝利
野島 稔
■ ¥500,000
野本 正平
原山 耕造
■ ¥300,000
池田 千絵
高祖 敏明
佐々木正峰
福島 啓充
保倉 裕
丸山 恵一郎
吉田 恭治

【大学教職員】

■ ¥1,000,000
広上 淳一
■ ¥300,000
木戸 芳子
樋口 健吾
村上 隆
■ ¥200,000
坂本 紀男
■ ¥100,000
秋山 隆典
石井 克典
岡田 敦子
小栗 まち絵
ガーボルフアルカシュ
杉井せつ子
加藤 富美子
加納 里美
金洞 祐子
神尾 真由子
川上 昌裕
菅 有美子

里村 孝美
佐野 良夫
澤邊 幸子
嶋田 裕子
白木 啓子
杉野 寿美子
杉元 太
杉山 薫
杉山 昭子
鈴木 正人
先崎 里美
早乙女あかり
高橋 由紀子
田口 悠喜
竹田 幸子
武田 順児
武村 博子
田中 百合子
谷 真子
田村 敏明
丹後 まみこ
千葉 長一郎
土屋 直子
樋泉 佳子
藤東 美明
利倉 恵美
永井 由美
中尾 香
中路 登志弘
中野 由紀子
中山ケロー雅子
西 規志
西村 幸弘
野口 朋子
野崎 真理
羽金 秀與
橋本 朱美
橋本 一弘
畑中 恵美子
花岡 文子
馬場 亮子
林田 肯子
羽山 弘子
樋口 麻衣
樋口 豊
福島 光司
福知 健人
福原 真弓
藤田 眞一
藤本 真己子
松木 昌弘
本田 かほる
前嶋 富恵
前田 眞己
南 得春
宮坂 文子
宮武 美弘
武藤 秀勝
齋藤 彩歌
坂本 友由喜
村山 政美
森 真由美

矢野 幸司
山崎 充子
横井 超
吉江 章
依田 光子
■ ¥10,000
青山 泰寛
赤坂 典子
赤星 多賀子
秋田 慎治
浅井 恵子
飯塚 三枝子
井迫 京子
石井 映子
石岡 千衣子
石川 正子
石川 益雄
石原 麗子
井手下美由紀
伊藤 滋己
井上 アキ子
植田 澄子
内田 恵子
内田 道子
榎 治子
榎本 尚良
太田 英二
大谷 通男
岡村 優
小川 秀俊
小口 恭明
小田切洋子
小野 香織
野口 雅枝
榎又 靖夫
片山 愛
加藤 秀和
金子 美智子
川島 美穂
河村 和子
川本 研一
菅 慶子
喜古 恵理香
北村 万里子
木戸 博也
久保 順子
久保田慶子
倉田 正彦
軍司 敬子
小池 八重子
河野 弘子
小坂 陽子
小谷 美知子
小林 則子
小室 昭代
紺野 さくら
齋藤 篤子
齋藤 弘
坂本 友由喜
相楽 京子
佐藤 麻衣

佐藤 照子
城和 富美
杉野 健二
杉野 浩太郎
高貫 勇
高羽 修
竹内 芳行
仲野 芳行
西崎 哲哉
野上 久美子
野沢 和子
長谷川道人
前川 洋子
箕輪 憲成
八木 敏
山本 恵子
■ ¥20,000
安藤 勝之
安藤 由美子
石川 涉
市瀬 益治
稲垣 伸夫
岩田 恭子
岩本 裕之
上田 由紀子
内堀 裕美子
遠藤 誠一
小川 哲也
小野 千賀子
上條 晴美
川内 成人
河内山和弘
北島 隆
工藤 純裕
倉林 類子
栗田 登志雄
河野 恵
腰塚 隆
近藤 愛花
阪本 滋郎
佐々木信行
柴田 幸世
清水 信行
杉野 浩
菅野 健也
高関 保美江
高橋 君城
高橋 巨雄
高橋 美帆・菜里
寺坂 千恵子
徳永 泰子
中村 篤
新津 功蔵
八山 徳男
福田 充
藤瀬 節子
古橋 公代
増田 喜代実
本橋 直子
安田 幸子
柳澤 智子

【個人】

■ ¥1,000,000
岡田 昌信
■ ¥300,000
菅ヶ谷純弘
■ ¥100,000
植竹 茂
大越 恭二
太田 淳子
河田 聡
佐藤 一雄
佐藤 和子
佐藤 麗子
下島 淳延
辻 昌宏
中山 茂樹
羽鳥 正明
平山 慎一郎
堀内 ひろみ
松高 いずみ
森山 和弘
安並 洗一
渡辺 憲太郎
渡部 博行
和田 祐樹
■ ¥80,000
川井 紘一
■ ¥50,000
荒 玲子
磯野 満徳
伊野 隆夫
尾崎 博子
尾崎 正浩
鎌田 康子
楠山 泰延
坂本 彩子
沢田 壽子
鈴木 文子
副田 博治
多田 和人
戸塚 多恵子
野田 千恵子
水谷 寿美
峰 博行
宮川 伸
渡邊 幸子
渡辺 浩志
■ ¥40,000
神田 千佳代
■ ¥30,000
飯淵 正子
井上 晴雄
江黒 順子
海老澤克昌
大堀 栄子
叶 弦大
兜森 つや子
小堺 鶏太
齋藤 チエ子
斎藤 文絵

2019年3月8日までに、総額74,738,100円の寄付をいただきました。

音楽学部「音楽教育専攻」と大学院修士課程「音楽教育専攻」が、2020年4月1日より大きく変わります

音楽学部「音楽教育専攻」が「音楽文化教育専攻」に

「音楽文化教育専攻」では、音楽文化のあり方や捉え方についての新しい考え方を学ぶことで、地域性と国際性の双方を視野に入れた音楽教育及び音楽文化活動を実践する人材を育成します。「音楽文化資源・メディア」「コミュニティ音楽文化教育」「グローバル音楽文化教育」の三領域を設け、専攻学生はこれら三領域に開設された授業を自由に組み合わせることで履修しながら、多様なレベルや種類の実技レッスンを複数選択することができます。このような研究と実践を柱とした、より進化したカリキュラムに改編します。

大学院修士課程「音楽教育専攻」が、「音楽文化研究専攻」に名称変更し、「多文化音楽研究領域」を新設

大学院修士課程「音楽文化研究専攻」は、従来の学際的な教育研究活動の成果に加え、新たに多文化音楽研究領域を設置することにより、多様性と国際性を重視した音楽文化に関する学術研究、教育を推進していきます。修了後は、音楽を通じて社会のあらゆる分野で貢献していくことができる人材を育成します。

「多文化音楽研究領域」は、多様な文化や民族性を背景として発達してきた音楽を探求し、日本を含む世界各地の伝統音楽の継承と発展に貢献します。伝統音楽の理論と実践をバランスよく学び、新しい音楽文化の創造、発信を目指します。

2019年4月 **新専攻**

TCM

吹奏楽アカデミー、誕生

吹奏楽を楽しみながら、学びたい。

楽しく学びながら、アカデミックで体系的に吹奏楽に関するすべての知識を習得。

吹奏楽のプロフェッショナルを目指しながら、卒業後に希望する

様々な進路に進めるよう、幅広いスキルを身につける4年間。

私たちと共に学び、一緒に夢を掴みませんか。

吹奏楽アカデミー専攻の4つの特色

第一線で活躍する教授陣が指導

吹奏楽のすべてを学べる授業

卒業後の進路は現場に直結

合奏の楽しさも存分に



教授 小串俊寿 [サクソフォーン]
特任教授 下野竜也 [指揮]
教授 外園祥一郎 [ユーフォニアム]
兼任教授 久保昌一 [打楽器]
准教授 中橋愛生 [作曲]
客員教授 天野正道 [作曲]
客員教授 星出尚志 [作曲]
客員教授 井芹康貴 [マーチング]

2019年4月
中目黒・代官山エリアに新キャンパス開校

2020年4月
付属高等学校は池袋キャンパスに移転。高大一貫教育を推進します。



TCM
Tokyo College of Music
東京音楽大学

中目黒・代官山キャンパス 〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1 Tel.03-6455-2700
池袋キャンパス 〒171-8540 東京都豊島区南池袋3-4-5 Tel.03-3982-3186